

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和2年3月25日発行

No.13

今年度を終えるにあたって

学校長 佐々木 貴子

保護者の皆様、今年度一年間、本校の教育研究活動にご協力とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年に入ってから、「新型コロナウイルス」に関するニュースが連日、報道されるようになり、特に、北海道・札幌市で感染者が次々に報告された頃からは危機意識をもつようになりました。本校では子どもたちが広域から通学していることを考慮し、学校を休校することにいたしました。その後、知事から「緊急事態宣言」、さらに安部首相から「一斉休校」要請が出され、実際には春休みまで休校になってしまいました。この間、保護者の皆様には、休校に関わる的確な情報をお伝えすることが難しく、ご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

3月13日には、第72回卒業式が無事に行われましたが、最後の校歌も歌えなかった子どもたちを目の前にして、胸が熱くなりました。現在は、114名の卒業生一人一人に卒業証書を手渡すことができたことに安堵する気持ちでございます。式当日の朝、担任の先生から証書の受け取り方を説明されただけの子もたちでしたが、笑顔で証書を受け取り、赤絨毯の上を正々堂々と降りていく姿はとても立派でした。ただ、この姿を保護者の皆様に見ていただけなかったことは大変残念であり、また申し訳ない気持ちでいっぱいです。卒業式は、もちろん子どもたちが中学校の全課程を修了したことを証明する儀式ですが、一方で保護者の皆様が我が子に9年間の教育を受けさせる義務を果たしたことを証明する意味も含まれています。そういう意味で、中学校の卒業式は親と子にとって重要な儀式であると考えております。そのため、私たち教職員は前々日まで保護者の皆様の参加が叶うように準備をして参りましたが、あらゆる場面で感染のリスクを避けることができず、苦渋の決断をすることになりました。

一方、在校生にとってもこの卒業式は、意義深いものです。特に、本校では多くの行事を学年の枠を超えて活動するため、先輩たちとのかかわりが深いと感じられます。卒業式は、3年生から2年生へバトンを渡す日です。このバトンには、71回分の卒業生たちの思いがぎっしり詰まっています。卒業式で「送辞」を述べるはずだった2年生の郡司さやかさんが卒業生に送ってくれた「贈る言葉」の中にある、「私たちは、先輩方が築いてきた附中生としてのあるべき姿を守り、この附属札幌中学校の伝統を受け継ぎ、より高い志をもって、更なる進化を目指した学校づくりに取り組んでいきたいと思っております。」という言葉からもわかります。

バトンには、もう一つの役割があります。それは、式の最後に卒業生と在校生が全校合唱の「大地讃頌」を歌うことです。この合唱に初めて挑戦する1年生は、1月末くらいから休み時間や放課後に練習をする声が聞こえていました。声変わりをしていない男子にとっては、バスパートを歌う3年生の姿はあこがれのようです。卒業式で先輩



たちと一緒に「大地讃頌」を歌い、在校生は卒業生にお祝いと感謝の気持ちを伝えるとともに、学年が進級することを自覚するのです。今回、それら一つ一つの貴重な体験をさせてあげられなかったことが残念です。

先行の見えない休みが続く中、子どもたちはご家庭でどのように生活しているでしょうか。19日に分散登校をした子どもたちに久しぶりに会いました。子どもたちは表面的には元気そうでしたが、不安な気持ちももっていたのではないかと感じました。親も子どもも外では、自分のすべてをむき出しにすることはほとんどありませんが、家の中ではその逆です。学校等でストレスが発散できない現状では、子どもたちは自分の感情のすべてを丸出しに親にぶつけてくることもあるのではないかと察します。ある学者は「人間と人間の全面的な触れ合いの場である家庭こそが、豊かな調和のある心を育てる教育の本来の場である。」と言っていますが、生意気ざかりの中学生においては、時にその対応に苦慮することもあるのではないかと思います。19日に公表された「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」を踏まえると、4月からは新学期がスタートできるのではないかという期待をもちますが、まだまだ油断は許されない状況です。だからこそ、ご家庭と学校で子どもたちを支えていくことが大切です。何か心配なことがございましたら、遠慮なく学校にご相談ください。私たち教職員は、すべての子どもたちが卒業の日を迎えるまで、子どもたちの成長を願い、日々努力を続けて参る所存です。

どうぞ、次年度も本校の教育研究活動にご協力・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

■離任される教職員からの言葉

3月をもちまして、以下の教職員が本校から転出・退任することとなりました。今年度は離任式を実施できないため、離任される教職員からのお話を紙面にて紹介させていただきます。

佐々木貴子校長先生	(学校長・4年)
木原英俊副校長先生	(副校長・2年)
寺林 陽子 先生	(美術科・3年)
松原 順哉 先生	(保健体育科・4年)
相馬 彩花 先生	(保健体育科・1年)
山口 修司 先生	(英語科・8年)
渡邊 道人 先生	(特別支援・2年)
石塚 鈴子 先生	(国語科講師・1年7ヶ月)
柿崎 健吾 先生	(社会科講師・2年)
寺谷 希詠 先生	(理科講師・1年)
松本奈津実 先生	(特別支援講師・2年)
福島 聖也 先生	(特別支援講師・1年)
太田 晶久 さん	(事務参事・3年)
関口 裕昭 さん	(用務員・5年)
菅原 夏海 さん	(心の相談員・1年)

【佐々木貴子校長先生】



4年前、学長から辞令を受け取り、附属札幌中学校に校長として着任した日のことを思い出します。平成7年に中学校教員を退職して大学教員になりましたが、まさか大学教員を兼務しながら、校長職を仰せつかるとは考えておりませんでしたので、職責の重さに身の引き締まる思いがいたしました。この度、2期4年の任期を終え、校長職を解任されることになりましたが、この4年間、卒業した子どもたちも含め、多くの子どもたちとの関わりを通して、たくさんの思い出を創ることができました。朝の子どもたちとの挨拶からは元気をもらい、藤華祭ではセレモニーに参加させてもらい、合唱祭では多くの感動をもらいました。また、家庭科の授業をさせてもらったり、旅行的行事にも参加させてもらったり、子どもたちと一緒に笑ったり、感動したりしたことは財産となりました。生徒の皆さん、ありがとうございました。そして、保護者の皆様には大変お世話になりましたことに、心よりお礼申し上げます。

【木原英俊副校長先生】



本校への着任が決って30年ぶりにこの地を訪れた時、懐かしさが込み上げたことを鮮明に覚えています。以来2年間でしたが、生徒の皆さんが日々の授業で見せてくれた学び合いも、行事での眩いばかりの煌めきも、何気ない日常生活の風景も、その全てが私の大好きな附属中の姿でした。

2月の頃は、「この先まだ1か月あるから、これからこんなことを伝えたい」と考えていましたが、それも叶わず。人生はなかなかうまくいかないものです。

「一期一会」という言葉があります。「人との出会いは二度と繰り返されることのない、一生に一度のものである」という気持ちで、常に人と接しなさい」という意味です。今回の経験を通して、皆さん一人一人が「一期一会」を大切にしながら、前に進んでほしいと願っていき、自分自身もそうありたいと思います。

最後になりますが、学校教育に心から賛同し応援して下さる保護者の方々、熱心に教育に打ち込む教職員、大学関係者の方々、地域の人々に支えられて、何とかここまで務めることができました。この場をお借りして、すべての皆様との出会いに感謝申し上げます。2年間、ありがとうございました。

【寺林 陽子 先生】



第73・74期の皆さん、進級おめでとうございます。皆さんは自分の意志とは別に、自分を取り巻く状況が変わることをどのように受け止め、向き合っていたでしょうか。先日、会えないまま、互いに思いを伝えきれないまま、第72期の先輩が卒業しました。皆さんにとってはまだ実感の湧かない「先輩の卒業」かもしれません。その変化を感じられぬまま、皆さんは進級することになります。

きっと皆さん自身が卒業を迎えたとき、これまで附属札幌中学校を卒業した先輩方や、まだ見ぬ後輩たちと、同窓の見えない絆を感じる、新しい関係性が生まれるものと思います。そして、その日が来ることを心の片隅に置きながら、皆さんで過ごす時間を大切にしていきたいですね。皆さんとこの校舎で顔を合わせることが私の大きな支えでした。本当にありがとう。またどこかで会えることを楽しみにしています。保護者の皆様、お子様のご進級おめでとうございます。様々な場面でお声掛けいただき励みになりました。本当にありがとうございました。

【松原 順哉 先生】



この度異動することになりました。附属札幌中では4年間お世話になりました。

私は保健体育科の授業を通して全学年の生徒と関わることができたこと、学校生活を送るにつれて成長していく皆さんの姿を見れたことをとても嬉しく思っています。

4月からは附属札幌中からとても遠い学校で新しいスタートを切ります。73,74期生のこれからの姿を見ることができないのは残念ですが、皆さんの活躍が南区まで轟いてくることを楽しみにしています。力まずに今まで通り、何事にも全力でチャレンジしてください。

保護者の皆様には研究大会や藤華祭、部活動などでご尽力いただき、心から感謝申し上げます。皆様の支えもあり、こうして附属札幌中での生活を全うすることができました。これからは遠くからになりますが、お子様の成長を陰ながら応援しております。本当にありがとうございました。

【相馬 彩花 先生】



この1年、教える立場でありながら、生徒の皆さんから色々なことを教えてもらいました。「自分で考えて行動する」。言葉で表すと簡単ですが、実践するのは難しいものです。けれどこの1年間、皆さんが「自分で考えて行動する」姿を何度も何度も見ることがあり、素晴らしいなと感じると同時に2年生になったら、3年生になったらどんな成長をみせてくれるのだろうととても楽しみに感じていました。皆さんが成長した姿を直接見ることは叶いませんが、新たなステージで成長している姿を楽しみに、新天地で頑張っていこうと思います。1年間、楽しく充実した日々をありがとうございました。保護者の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

【山口 修司 先生】



この度、長らくお世話になりました附属札幌中学校を離れることになりました。お世話になりましたすべての保護者・職員の皆様には、感謝し尽せません。失敗や力不足のためご迷惑をおかけしたことも多々あったかと思いますが、時には温かい言葉をかけていただき、時には力強く励ましていただきましたことを深く感謝申し上げます。

生徒の皆さん。いつも元気にあいさつをしてくれたり、笑顔で話しかけてくれたりなど、全てが素敵な思い出です。これからも謙虚に素直に多くのことを吸収し、恐れず前向きに挑戦して、更に成長することを期待しています。サッカー部の皆さん、中体連で旋風を巻き起こすことを楽しみにしていますね。

皆様のおかげで、8年間楽しく充実した教員生活を送ることができ、本当に幸せでした。新天地で、また一から頑張ります。附属札幌中学校と生徒・保護者・職員の皆様のご健康とご発展を心よりお祈り申し上げます。

【渡邊 道人 先生】



附属中学校の印象は、“生徒が自分のもっている個性を発揮して輝ける学校”です。私の中学時代は“皆と同じ様に”と言われてきました。それがよかったのか、悪かったのかはわかりませんが、今の時代とは合っていないと思います。今の時代に合った、次の時代を担う生徒を育てるための土台が、附属中学校にはあると思います。それは教職員の日々の努力はもちろんのこと、保護者の皆さまのご理解とご協力あってのことだと思います。素晴らしい環境で働かせていただきありがとうございました。

最後になりますが、2年間という短い間でしたが、皆さまと共に生徒たちを見守り、成長の一端を担わせていただけたことをとても幸福に思います。本当にありがとうございました。今後も生徒たちの成長を祈っております。

【石塚 鈴子 先生】



書写の授業が途中のままなのに、3月で離任することになりました。漢字クイズ大会をする約束をしていたのに残念です。1,2年生のみなさんとは月1,2回しか一緒に勉強できませんでしたが、各学級、それぞれ個性が強いなあと感じていました。もう皆さんと勉強できないのは残念ですが、次のステップに進もうと思います。皆さんも、それぞれの目標に向かって一つ駒を進めてください。応援していますよ。

保護者の皆様。2018年9月から1年半お世話になりました。思い起こせば、着任の挨拶をしたあと、授業がないまま台風による休校、地震による休校が続き、最初の授業ができたのは着任してから1週間後でした。そして今年、まさか2月27日が最後の授業になるとは！全く予想しなかった展開ですので、3年生には受験の激励もできず、1,2年生には、お別れの言葉も言えず、コロナによる休校ですので仕方ないとは思いつつも、あやふやな状態で終わってしまったことが悔やまれます。

さて、4月からは新しい学校に赴任します。附属での経験は、期間は短かったものの中身の濃かった貴重な時間でした。その経験を十分生かして新しい学校でも努力したいと思います。お世話になりました。ありがとうございました。

【柿崎 健吾 先生】



皆様、2年間ありがとうございました。私自身、非常勤講師の身でありながら初めての教職経験がこの附属中学校でした。それが故に至らぬ点が多々あったと思いますが、保護者の皆様や生徒の皆さん、先生方に支えられながらなんとか2年間やってこれました。授業があるときは、毎回私の授業を楽しみにしてくれた生徒の皆さんがいたからこそ頑張ってこれましたし、とても元気をもらいました。授業以外でも藤華祭で父親委員会の皆様と一緒に校歌を歌ったりするなど素敵な思い出ができました。

4月からは、札幌市の小学校でお世話になります。附属中学校での学びと誇りを胸に、新天地でも日々邁進していこうと思います。

【寺谷 希詠 先生】



附属中学校で過ごした1年間は私にとってかけがえのない日々でした。子どもたち一人一人の意見や探求に触れるなかで、単に教える教員と教えられる生徒という枠を超えて、相棒とともに授業を作り上げているような熱い感覚をもって日々を過ごして参りました。

子どもたちの高い向上心に引き上げられて、もっとここを改善したい、もっと挑戦したいと、常に理想と子どもたちを見つめて尽力できたのは、素直で好奇心旺盛な子どもたちと、教育現場を支えてくださった保護者の皆様のお力添えあつてのことです。これからも子どもたちの健やかな成長と幸せを祈っております。一年間、ありがとうございました。

【松本 奈津実 先生】



この附属札幌中学校は、来るたびに爽やかで充実した気持ちになることができました。非常勤講師という立場でありながらも、日々学び、ひたむきに頑張る生徒の皆さんの姿に、私自身も学ばせて頂くことが多く、共に成長することができた2年間であったと感じています。共に過ごしてくれた生徒の皆さんや、支えてくださった保護者の皆様、教職員の皆様に、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

これからもこの附属札幌中学校での経験と思い出を胸に、より一層精進して参ります。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

【福島 聖也 先生】



1年間という短い時間でしたが、非常に充実した時間を過ごさせていただきました。中学校で過ごす時間が多かったですが、授業や学校生活を通して皆さんから多くのことを学び、素敵な経験をすることができました。非常勤という立場でありましたので、「皆さんの元気な姿と一緒に毎日過ごすことが出来たら」と何度も思いました。私自身、4月から人生の新たなスタートを切ることになりましたが、この1年の思い出は一生の宝物になると思います。そして、学んだこと、経験したことを糧に全力で突き進んでいきたいです。最後になりますが、児童・生徒のみなさん、保護者の皆様、教職員の皆様、大変お世話になりました。1年間ありがとうございました。



【太田 晶久 さん】



皆さんこんにちは。私は平成29年4月から3年間附属札幌中学校に勤務させていただきました。今でも、始業式の時にドキドキしながら壇上で生徒の皆さんに挨拶したことを昨日のこのように思い出しています。

附属札幌中学校では、生徒の皆さんが安心・安全で修学できる環境を確保することを目標に努めてきました。結果としてはある程度改善できたのではないかと考えています。

生徒の皆さんは自分の将来の目標に向かって、附属札幌中学校を成長の場として今後も頑張ってください。春休み中に机を更新します。楽しみにしててください。3年間ありがとうございました。

【関口 裕昭 さん】



平成27年4月、北海道教育大学を定年退職した後、再雇用で附属中学校用務員として今日まで5年間勤めて参りました。

多くの生徒たちとの交流も有り、自分が卒業した時代の中学校とは全く違う学校生活を送る皆さんに驚きと頼もしさを大いに感じました。新型コロナウイルス対策で細やかな卒業式、華々しい卒業式を夢見ていた卒業生、ご両親様はさぞ残念に思われたでしょう。心よりお察し申し上げます。

卒業生、在校生においてはこれから沢山の出会いや楽しみが待っています。未来に向けて歩いて行ってください。

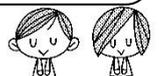
5年間という短い間ではございましたが、ありがとうございました。

【菅原 夏海 さん】



1年間心の相談員としてお世話になりました。相談室や保健室にいたことが多かったのですが、一部の生徒さんしか関わることはありませんでしたが、廊下で会ったときの挨拶や合唱の声などにとっても元気をもらっていました。私のお仕事は「人の話をきくこと」ですが、誰かに話をきいてもらうことは生きていく上でとても大切な力です。助けを求めることは恥ずかしいことではないということを覚えていてください。そして、誰にも助けを求められないときは、附属中学校の先生方やスクールカウンセラーの先生、そして心の相談員を思い出してもらえたらと思います。素敵な学校生活を送れるよう、皆さんのことを応援しています。ありがとうございました。

離任される皆様には、これまで本校の教育活動にご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。新天地でのご活躍をお祈り申し上げます。



<新年度当初の予定>

新年度の予定は変更する可能性がございます。確定したものは新年度に改めてお伝えします。

8日(水) 第75回入学式

10日(金) 尿検査1次

13日(月) 授業参観(5校時)、学級懇談会、PTA委員会・ふじづる会

16日(木) 口腔検査(全学年)

17日(金) 前期承認式、委員会・専門局会

18日(土) 午前:部活動結成集会(希望者のみ参加)

午後:PTA・ふじづる総会、学年懇談会、PTA役員会

21日(火) 教育相談1(全学年)

22日(水) 教育相談2(全学年)

23日(木) 教育相談3(全学年)、尿検査2次

24日(金) 教育相談4(全学年)

28日(火) 小中ふじのめ合同体位測定



新年度は4月7日からの登校を予定しております。登校時間や内容等の詳細につきましては、新型コロナウイルス感染症に関わっての状況に鑑み、検討を重ねております。決定次第、一斉連絡メールやホームページでご連絡いたしますので、確認のほどよろしくお願いいたします。

保護者の皆様におかれましては、臨時休業等に関わってご心配をお掛けしておりますが、今年度様々な場面で本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。新年度も、教職員一丸となって子どもたちの成長のために尽力して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

